

授業改善シート〔国語〕

校番(36) 福山市立神辺西中学校

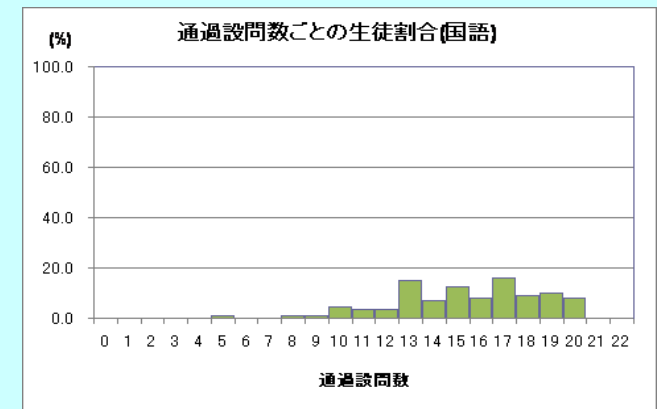
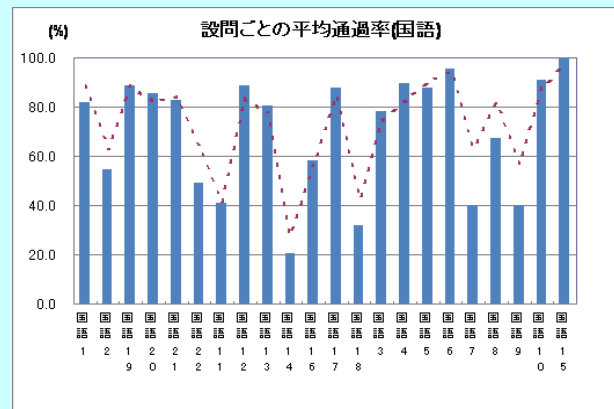
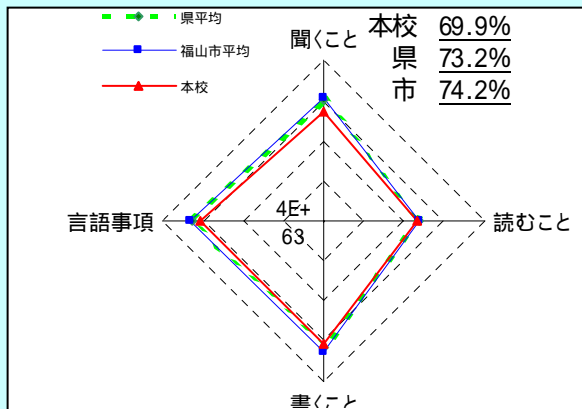
昨年度課題

段落相互の関係をとらえることに課題がある。
文章の展開から要旨をとらえることに課題がある。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

文章全体のなかでの役割を接続詞や指示語を基に内容を捉える指導を組み入れていく。
説明文や物語文のキーワードを把握させる指導を継続する。
グループで考え、見つけ方やその種類について交流し、要旨を捉える方法をひろげていく。
《本年度の目標値 文章の展開を確かめながら、要旨を捉える設問の通過率を県平均以上にする。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 「基礎・基本」定着状況調査

文を組み立てている部分において、主語・述語の関係を理解することに課題がある。(通過率 39.8%)
文章の展開に即して、登場人物の心情を的確にとらえることに課題がある。(通過率 20.5%)
文章の構成や展開を正確にとらえ、内容を理解することに課題がある。(通過率 31.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【国語科】
練習問題を繰り返すことで定着をはかる。教材文では、省略された主語を考えさせる。文学的文章では、登場人物の行動や会話を通して心情を考える指導をする。その際グループで考え、交流することで深く考える工夫をする。
接続詞や指示語を基に内容を捉える指導を継続し、文章全体の構成を正確に捉えることができるようにする。
【全校・他教科等】
言語活動を全教科で充実させていく。(言語技術の向上や言語活動充実への雰囲気づくり)
文章などを「書く」作業を多く取り入れる。(授業、課題)

取組みの検証

時期 2月中旬 目標値 全国平均
方法 CRT 検査

来年度の目標値

重点課題にあげた設問の通過率を県平均以上にする。

授業改善シート〔数学〕

校番(36) 福山市立神辺西中学校

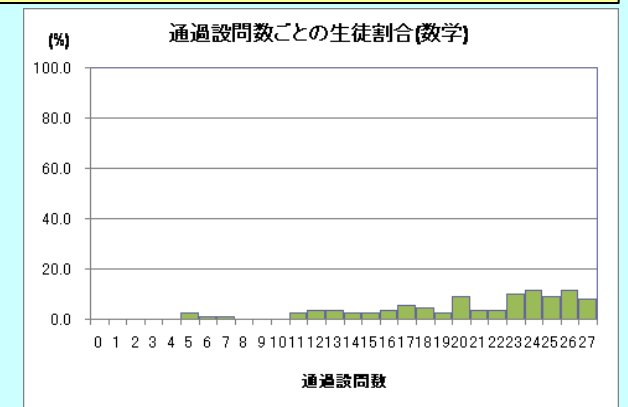
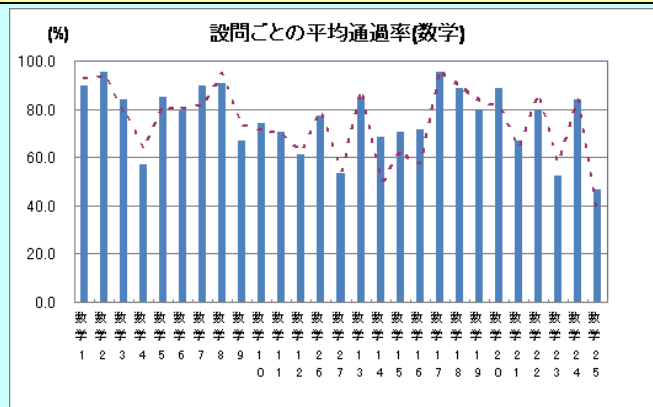
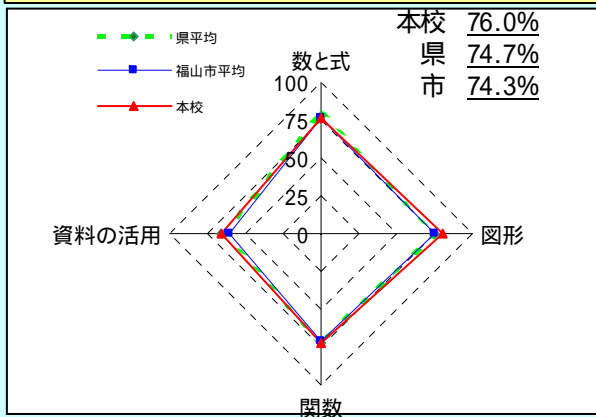
昨年度課題

円すいと円柱の体積の関係が理解できていない。
証明の書き方に課題がある。
一次関数の式の形成の理解が不十分である。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

立体に関する把握、処理については、推論をたてさせ、その後実際に道具を用いて確認させる。
証明問題や割合の問題では、前時の復習の小テスト等、反復学習を毎時間行う。
関数の指導では、身近な例をもとに表・式・グラフを常に関連させて考えさせる。
《本年度の目標値 重点課題に挙げた設問の通過率を県平均以上にする。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 「基礎・基本」定着状況調査

数と式において、累乗の計算に課題がある。(通過率 56.8%)

関数において、グラフの考察に課題がある。(通過率 79.5% , 52.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【数学科】

数の計算では、小テストや反復学習を毎時間行う。

表・式・グラフを相互に関連づけて指導し、関数の特徴について理解を深める。さらに、二つの数量の関数関係を判断する際の根拠や問題解決方法を説明させる。

【全校・他教科等】

言語活動を全教科で充実させていく。(言語技術の向上や言語活動充実への雰囲気づくり)
文章などを「書く」作業を多く取り入れる。(授業、課題)

取組みの検証

時期 2月中旬
方法 CRT 検査
目標値 全国平均

来年度の目標値

重点課題に挙げた設問の通過率を県平均以上にする。

昨年度課題

適切な語を用いた会話文を組み立てることができない。
過去形を用いて、自分のことについて内容を考えて書けない。
現在進行形の問いに対して、適切に応答することができない。

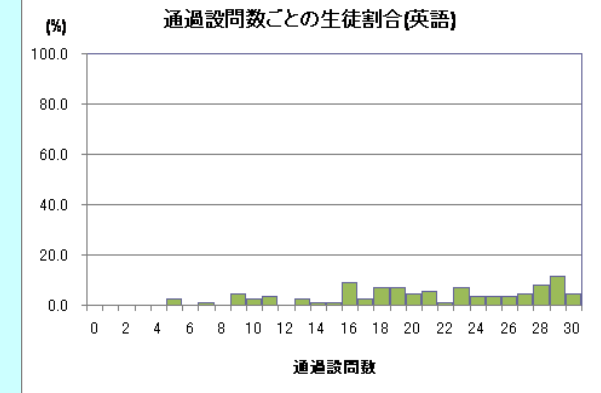
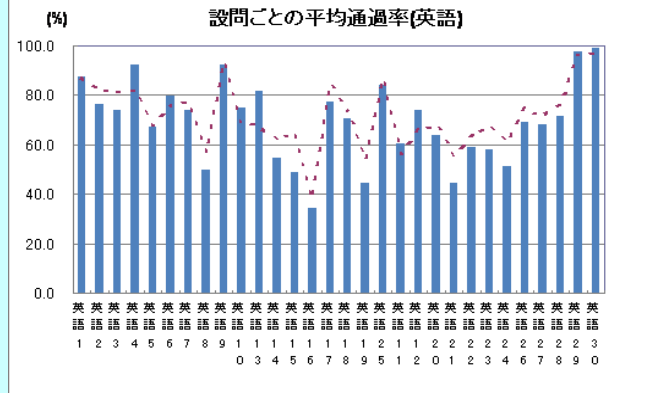
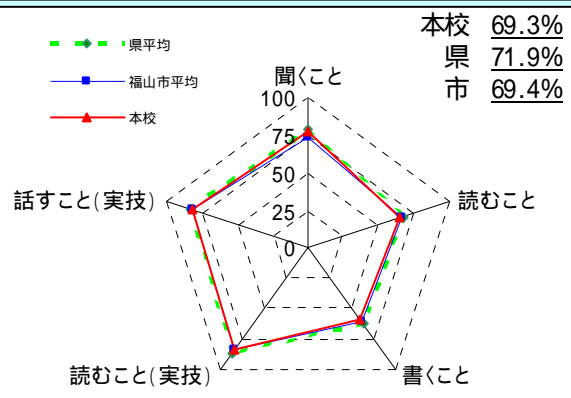
昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

課ごとに話題や文法のポイントを絞り、会話の組立を考えられる練習をペアで行う。
宿題で文法的なドリル練習を行うとともに、レポート作成により内容を考えて書く力を育成する。

《本年度の目標値

》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 「基礎・基本」定着状況調査

人称代名詞, 進行形, 三人称単数現在を理解し, 会話文を組み立てることが, 県と市よりも低い。

過去形を用いて自分のことについて内容を考えて書けていない。(通過率 44.3%)

つながりのある文章を書く力に課題がある。(51.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【英語科】

つながりのある文章を書く指導を授業で行い, 定期テストに出題する。
ドリル的な学習ができる教材を使い, 家庭学習として行う。
会話の練習をペアで行い, 2文以上で答える練習をする。

【全校・他教科等】

言語活動を全教科で充実させていく。(言語技術の向上や言語活動充実への雰囲気づくり)
文章などを「書く」作業を多く取り入れる。(授業, 課題)

取組みの検証

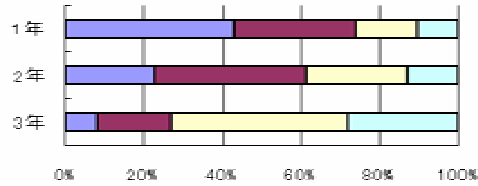
時期 2月中旬 目標値 全国平均
方法 CRT検査

来年度の目標値

つながりのある文章を書く力で, 市平均以上にする。

1 生活・学習

平日、(1+学年×0.5)時間以上の家庭学習をしている。



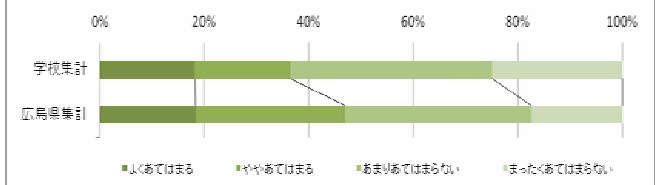
	3年	2年	1年
■よくあてはまる	8%	22%	43%
■ややあてはまる	19%	39%	31%
□あまりあてはまらない	45%	26%	15%
□まったくあてはまらない	28%	13%	11%

改善したい点(「基礎・基本」)	今後の具体的な取組みの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の予習の充実(肯定的評価 30%未満) ・計画を立てての勉強(肯定的評価 40%未満) ・「自分のよさがまわりから認められている」(肯定的評価 40%未満)を向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題を定期的(週1回以上)に出す。午後の学活で宿題の有無を学級全体で確認する。 ・各教科で家庭学習の具体的なやり方(とくに予習)を指導する。 ・学習習慣づくりについて、通信や学級懇談等を通して家庭と連携する。 ・構成的グループエンカウンター等を用いて、自己実現力・自己効力感を育て、学習に対する意欲を向上させる。

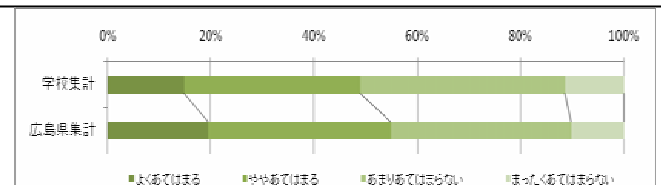
来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の時間(1+学年×0.5)時間以上の生徒の割合を55%以上にする。
---------	--

2 教科学習への意識

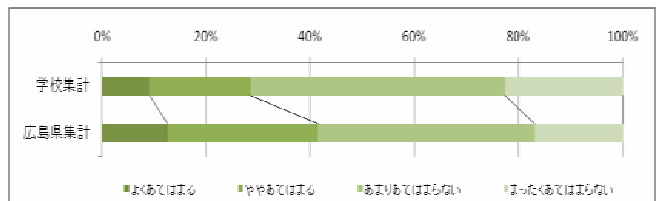
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



数学の授業では、文章に書かれている関係を式で表すために、言葉の式や図を使って考えています。



英語の授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で話しています。



	生徒の回答と学校の指導についての課題(「基礎・基本」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	分からない言葉や漢字は辞書を使って調べている生徒は36.4%で昨年よりはあがったが、県平均とはまだ差がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書の活用の重要性を理解させ、授業では辞書を活用して語句の意味や漢字を調べる時間を設定する。
数学	文章で書かれている関係を、言葉の式や図に表して考えている生徒が42.9%で、県平均54.9%と比べて大幅に低い。	<ul style="list-style-type: none"> ・常に式と表・図を関連づけて考えさせる。 ・自分の考え方や解き方を説明する場面では、式だけ説明するのではなく、常に表や図なども用いて説明させる。
英語	適切な語を用いた会話文の組立をみる4つの問題で、県の通過率との差が平均-13.2%あり、課題である。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な会話文を繰り返し練習する時間を、毎時間設ける。 ・既習の文法事項を、ペアワークによって定着させる。

来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の課題の割合がそれぞれ県平均、全国平均と同等程度を目指す。
---------	---

授業改善シート〔実施スケジュール〕

校番(36)番 福山市立神辺西中学校

	~ 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	・ Plan		・ Do			・ Check		・ Action				
	結果の分析・H2 2の改善計画の見直し H2 3の改善計画の実施					検証		次年度の計画				
全校・全教科	実態分析による重点課題の把握と改善計画の作成	改善計画を元にした研究授業、授業実践及び授業交流の実施 校内研修による成果と課題の把握	課題を元にした取り組みの改善	公開研究会の実施 校内研修による成果と課題の把握	課題を元にした取り組みの微調整 次年度のシラバス検討	各教科の授業改善についての検証（改善計画の評価と課題把握）	研究授業、授業実践及び授業交流の実施 校内研修による成果と課題の把握	新年度の授業改善計画の作成 課題を元にした次年度の取り組み案作成と検討	昨年度の課題と今後の取組について校内研修の実施	課題を元にした取り組みの改善		
国語	教科部会の実施及び研修（市教研等）への参加により、指導法の工夫・改善を図る。	校内研修による表現力の実態や課題の把握	定期テストの評価と課題把握	公開研究会を通して指導法の研修	定期テストの評価と課題把握	修学旅行を終えてレポートの作成	授業改善に関する実態の把握とその改善策の検討	シラバスの見直し 重点課題に対する定着度の把握（学年末テスト）	使用教材の選定	定期テストの評価と課題把握		
数学	教科部会の実施及び研修（市教研等）への参加により、指導法の工夫・改善を図る。	実態分析による課題の把握	定期テストの評価と課題把握	公開研究会を通して指導法の研修	定期テストの評価と課題把握	休み明けテストの評価と課題把握	授業改善による成果と課題の把握	シラバスの見直し 重点課題に対する定着度の把握（学年末テスト）	使用教材の選定	定期テストの評価と課題把握		
英語	教科部会の実施及び研修（市教研等）への参加により、指導法の工夫・改善を図る。	レポート作成 英語科校内授業研究	定期テストの評価と課題把握	公開研究会を通しての指導法の研修	定期テストの評価と課題把握	レポート作成	会話テスト	シラバスの見直し 重点課題の対する定着度の把握（学年末テスト）	使用教材の選定	定期テストの評価と課題把握		
生活・学習	集計結果の分析	授業改善 学習規律徹底 学級懇談会での保護者啓発 学年通信での協力依頼	授業改善 中間試験の取り組み 三年三者懇談会	授業改善 公開研究会	授業改善 期末試験の取り組み 三者懇談会	授業改善 学習規律徹底	授業改善 進路説明会	授業改善 学年のまとめと新学年に向けて	学年学級開き 学習の仕方について 学習規律徹底 生活リズムの確立	授業改善 学習規律徹底		